

ADVANTEST®



2024年度（2025年3月期） 第1四半期決算説明会

2024年7月31日
株式会社アドバンテスト

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。

サマリー

- 生成AIに向けたSoC半導体の複雑化進展にともない、信頼性向上のためのテスト需要が想定以上に引き上がる
- 顧客への製品納入が進捗し、売上ミックスも改善したことから、FY24 1Qの売上高、営業利益、当期利益は前年同期および前期比で増収増益
- FY24通期予想も上方修正

2024年度第1四半期決算報告

経営執行役員
CFO & CSO (Chief Strategy Officer)
経営戦略本部長 三橋 靖夫

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ADVANTEST[®]

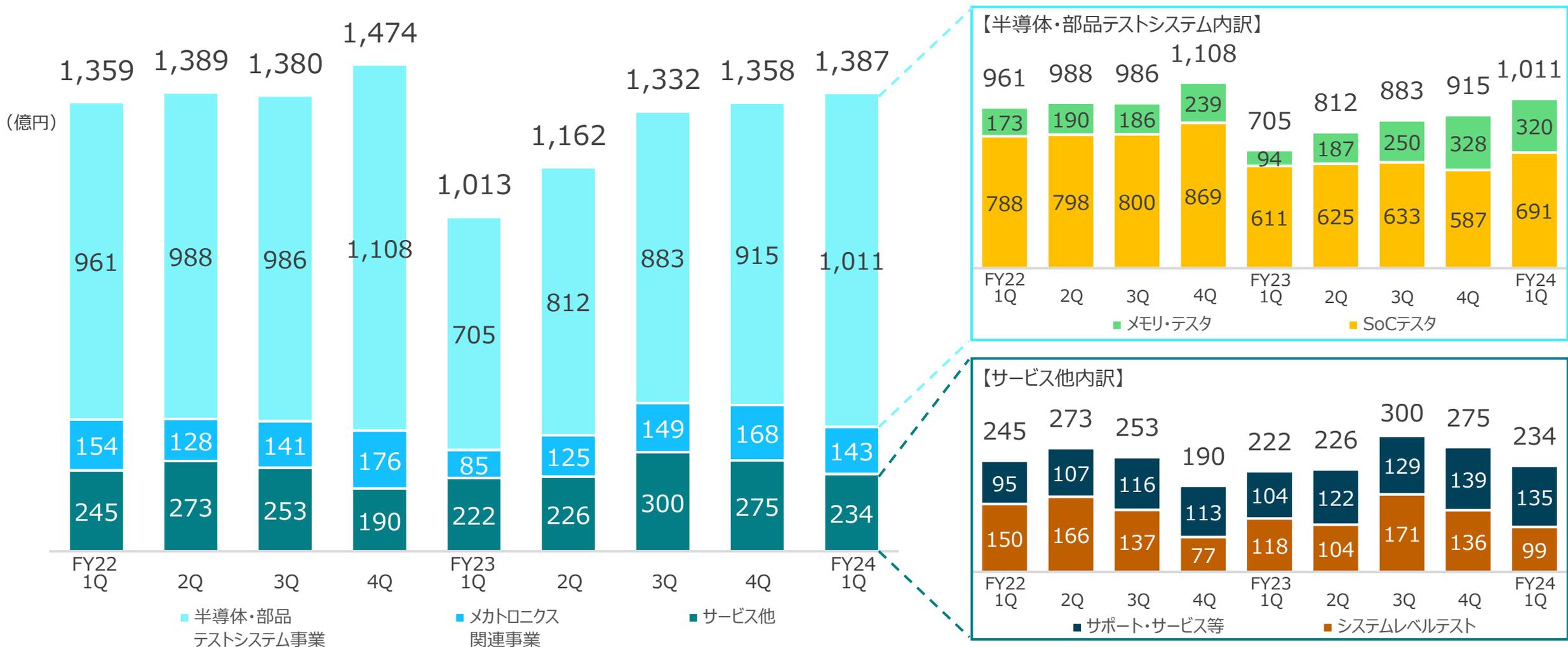
四半期業績推移

(億円)

	FY23				FY24 1Q	FY24 前期比		FY24 前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	1,013	1,162	1,332	1,358	1,387	+30	+2.2%	+375	+37.0%
売上総利益	510	580	674	696	769	+73	+10.4%	+260	+50.9%
売上総利益率	50.3%	49.9%	50.6%	51.3%	55.4%	+4.1pts		+5.1pts	
営業利益	143	210	268	195	313	+118	+60.4%	+171	+2.2倍
営業利益率	14.1%	18.1%	20.1%	14.4%	22.6%	+8.2pts		+8.5pts	
税引前四半期利益	130	203	263	186	319	+133	+71.6%	+190	+2.5倍
四半期利益	92	167	212	152	239	+87	+57.6%	+147	+2.6倍
四半期利益率	9.1%	14.4%	15.9%	11.2%	17.2%	+6.0pts		+8.1pts	
為替レート	1米ドル	135円	142円	149円	147円	153円	6円 円安		18円 円安
	1ユーロ	146円	156円	159円	159円	165円	6円 円安		19円 円安
1株当たり配当額*1	-	16.25円 (65円)	-	18円	-	-	-	-	-

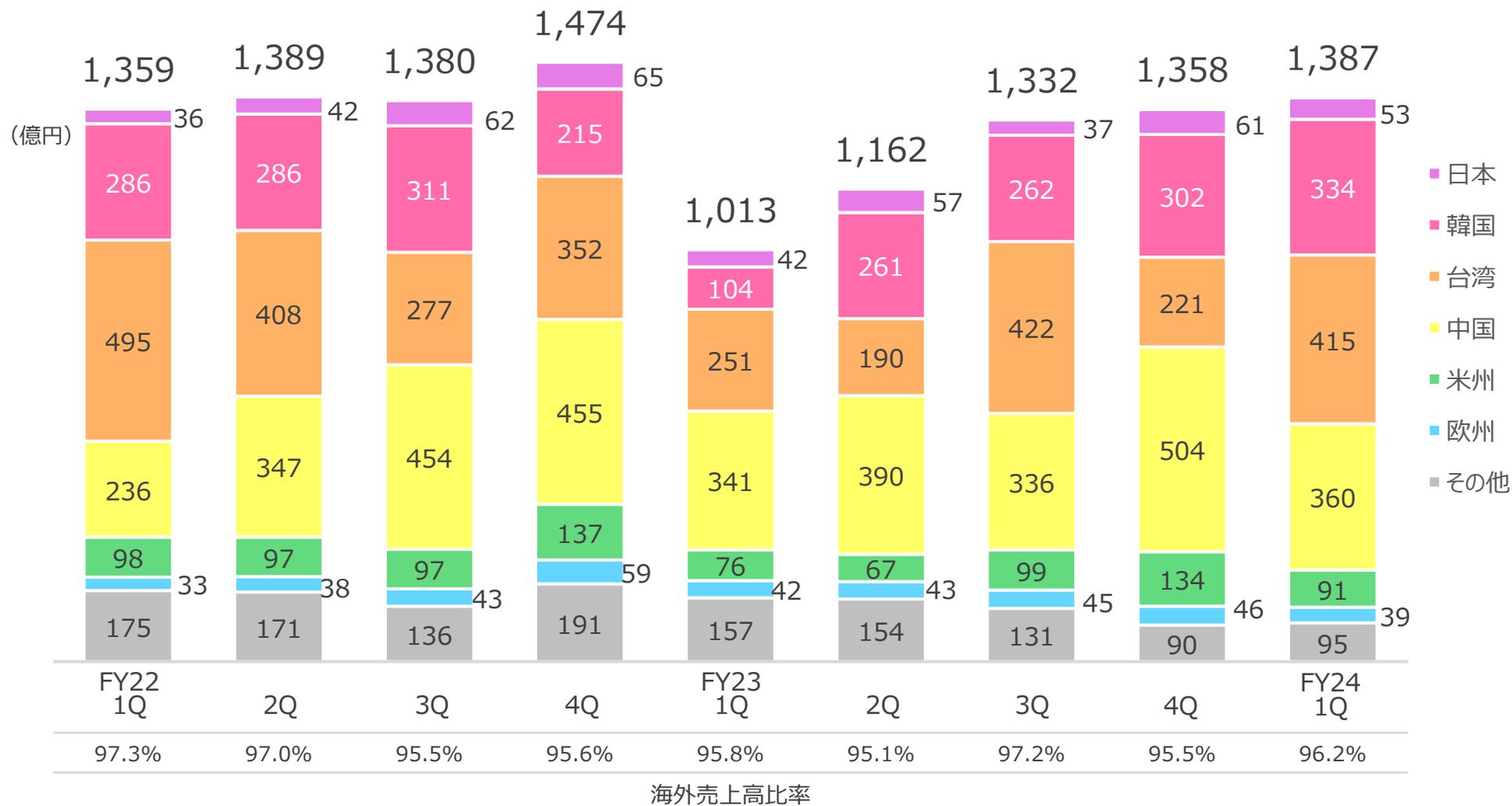
*1:当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記1株当たり配当金はFY23期首に株式分割が行われたと仮定しての数値を記載しています。(カッコ内は分割前の値)

四半期売上高 事業セグメント別

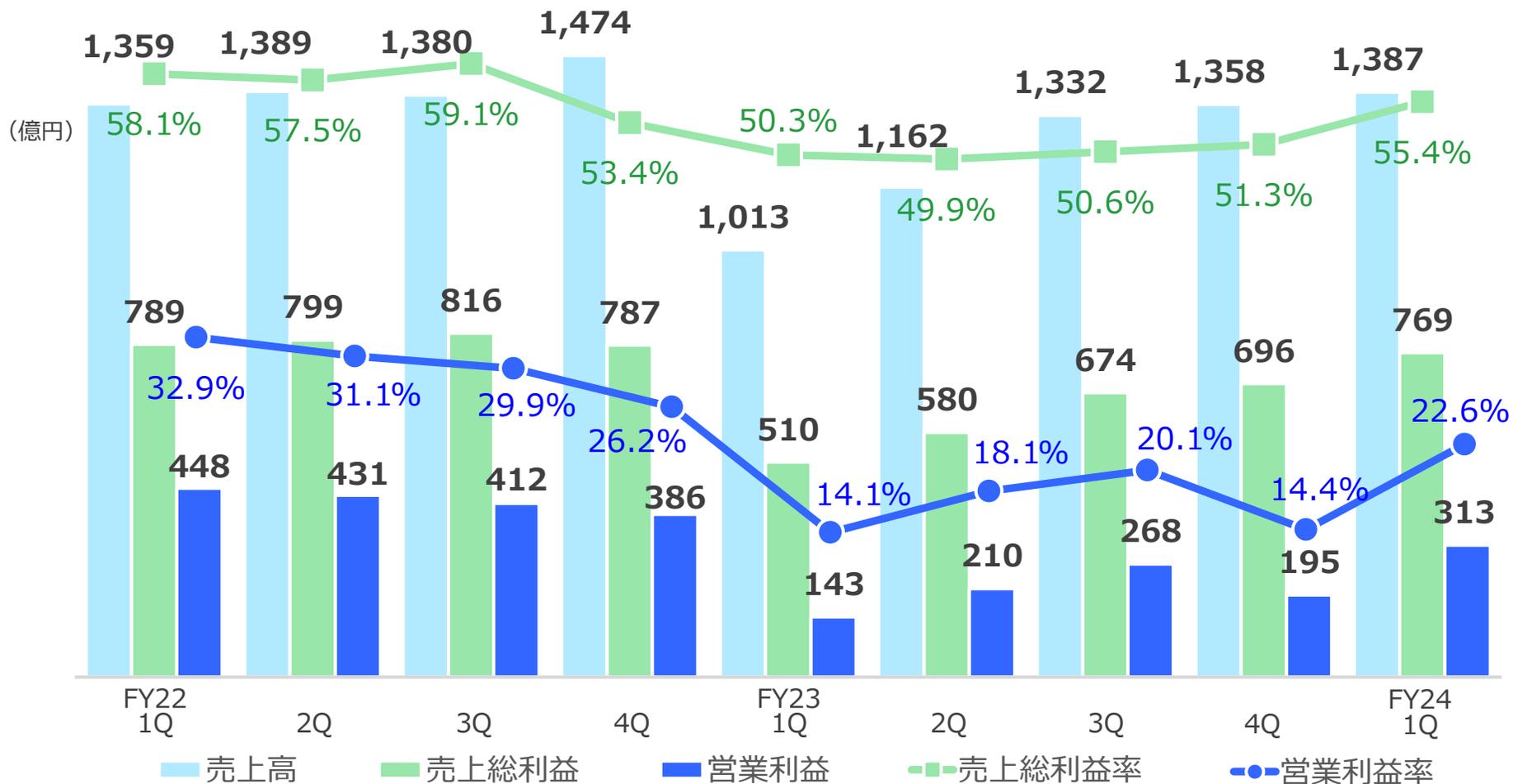


*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期売上高 地域(出荷先)別



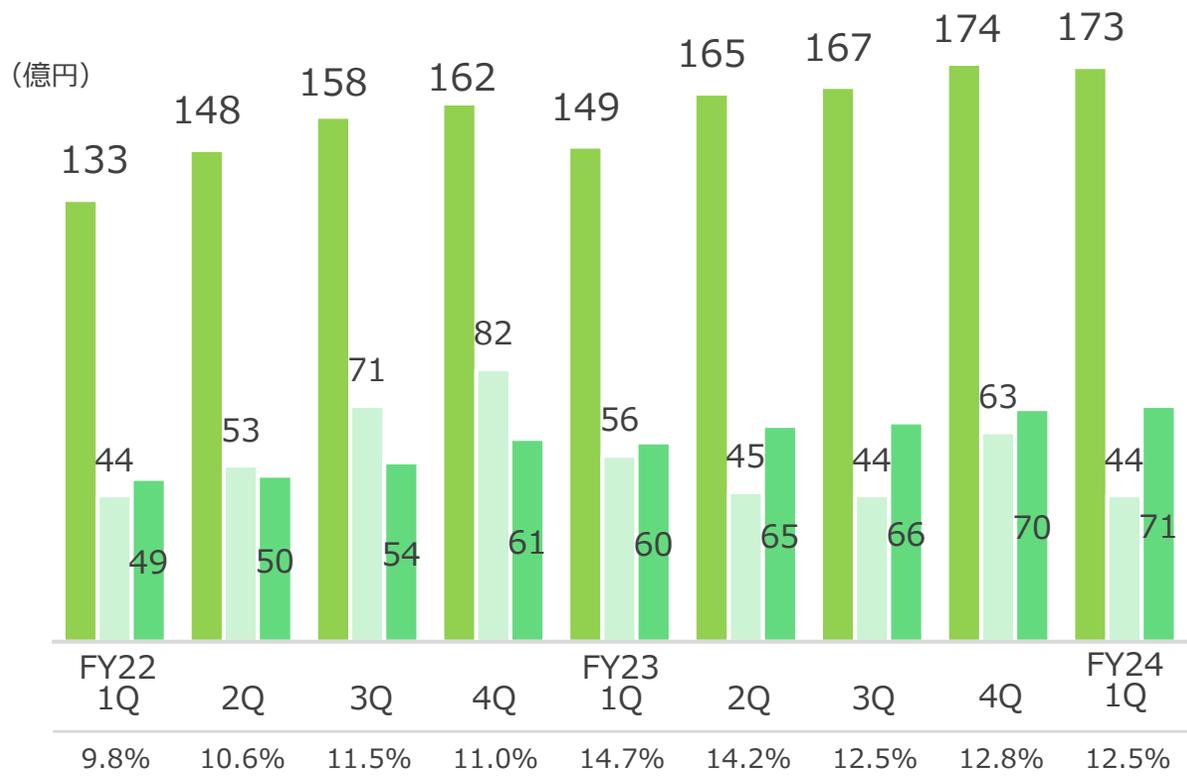
売上高/売上総利益/営業利益



投資等/キャッシュ・フロー

<投資等>

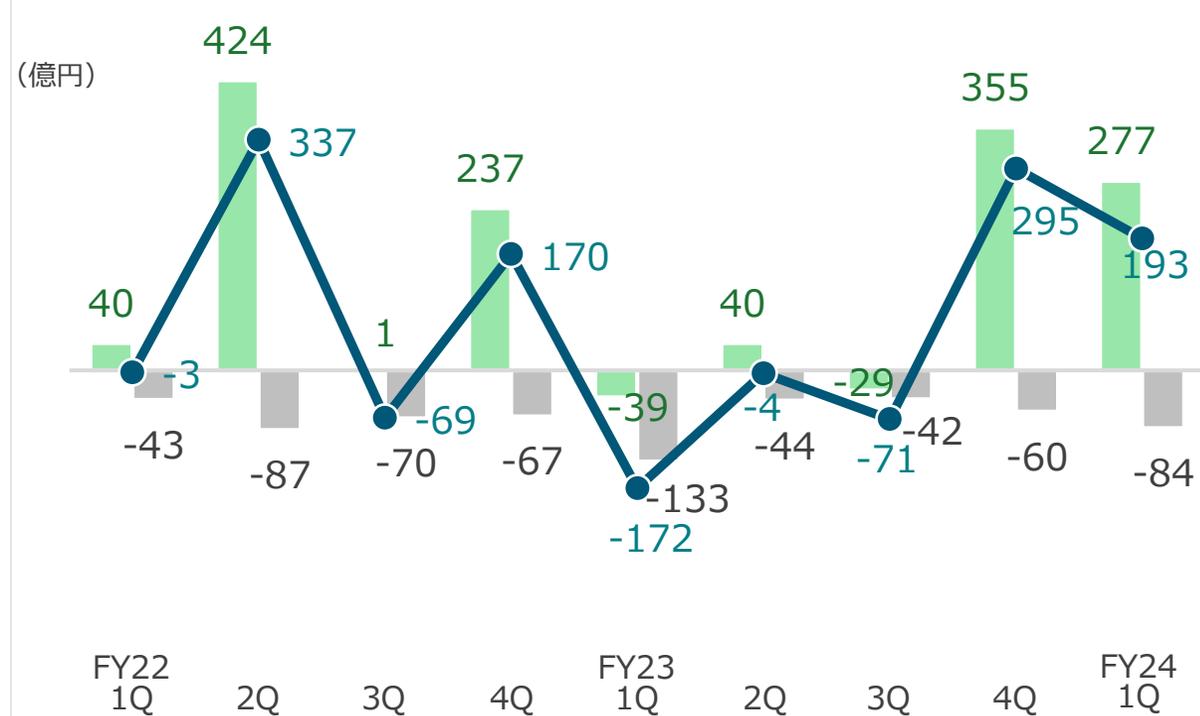
- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



研究開発費売上高比率

<キャッシュ・フロー>

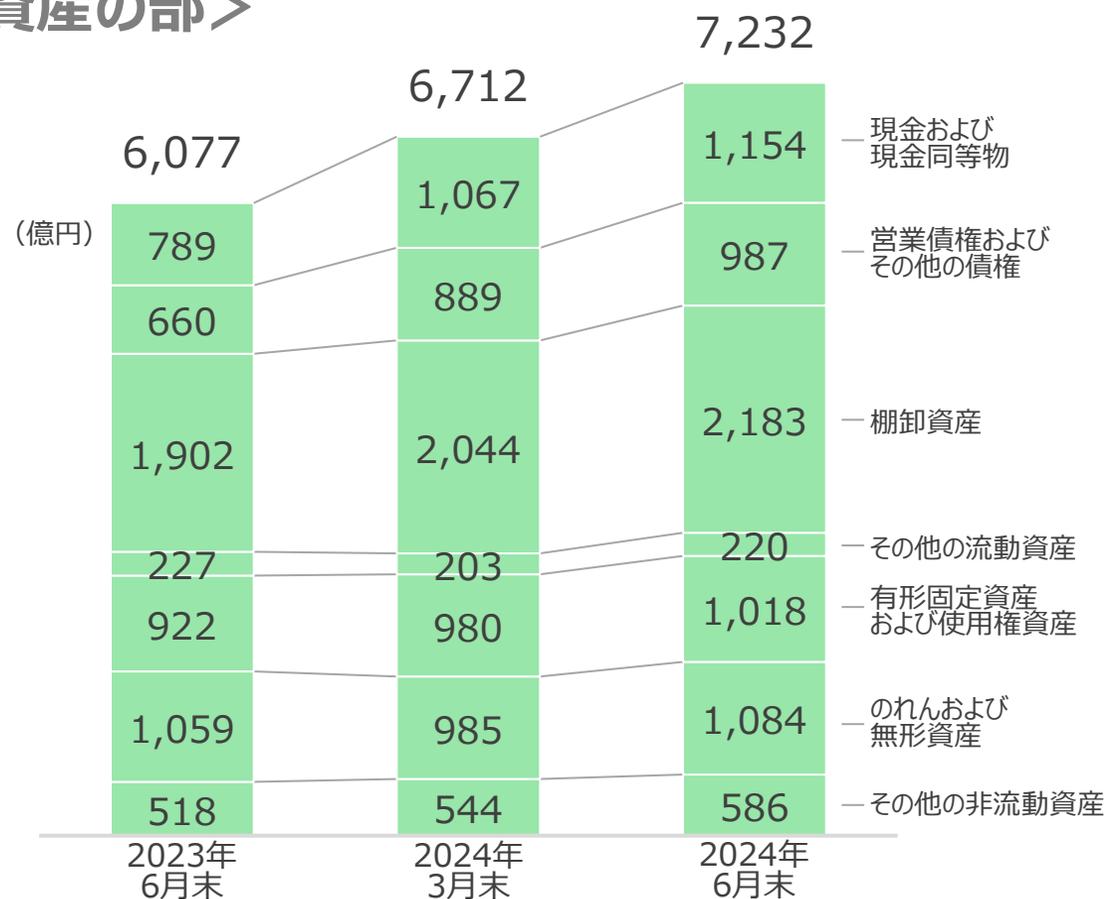
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



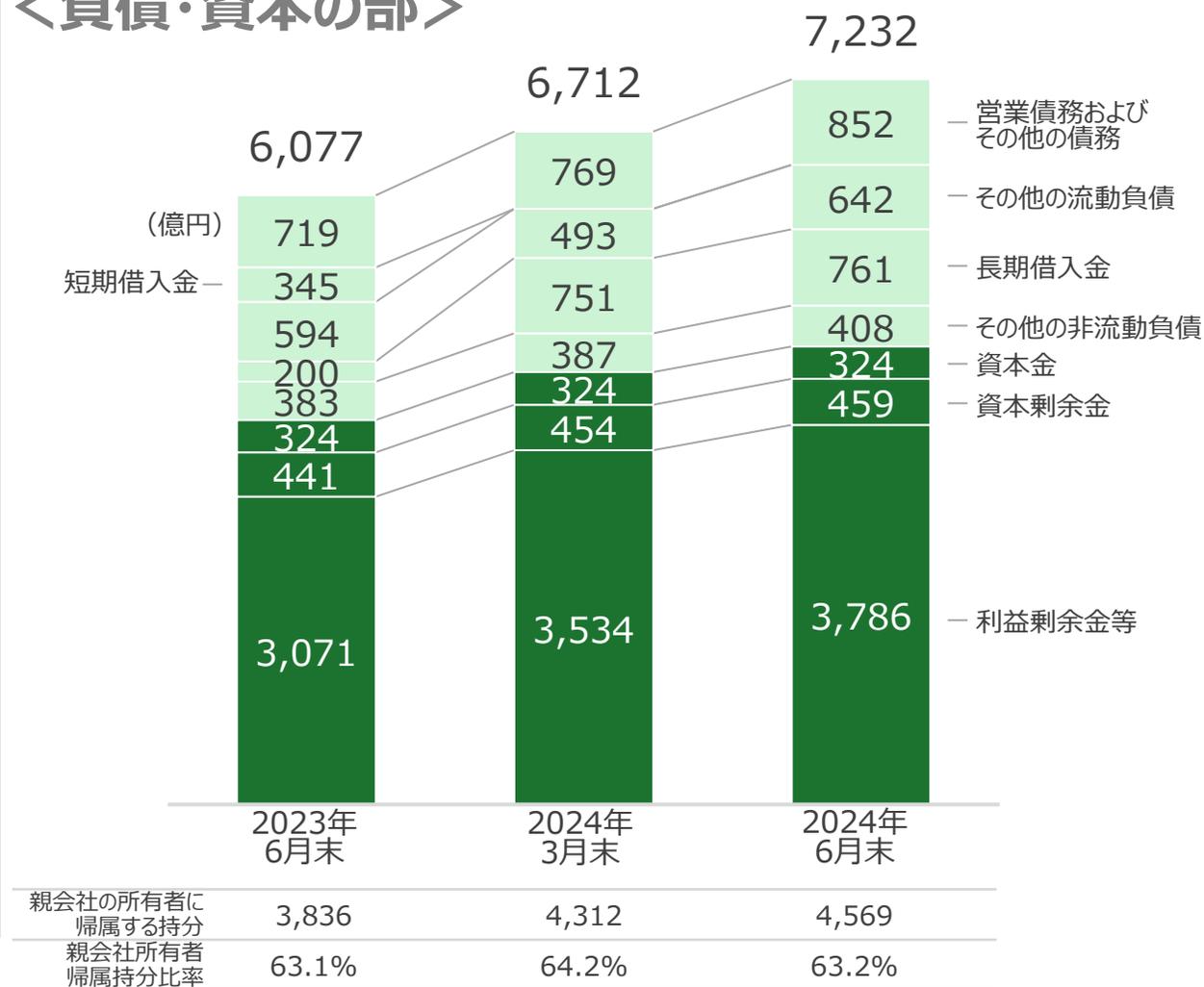
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



2024年度事業見通し

代表取締役 兼 経営執行役員 Group CEO Douglas Lefever

事業環境と半導体テスト市場の動向 <24年7月時点の見方>

<事業環境>

- 根強いインフレを背景に金融引き締め政策が継続したものの、世界経済は堅調に推移
- 生成AI関連の半導体は想定を上回る成長を見込む一方で、車載・産業機器向け半導体はなお軟調に推移。半導体市場の回復はまだらな様相を呈する

<半導体テスト市場>

- 2024年の半導体テスト市場は、生成AIに向けた半導体の複雑性の増加がHPC向けテスト需要を想定よりも急峻なペースで引き上げ。従前よりも強い需要の伸びを予想
- 一方、車載・産業機器向けテスト需要の回復には時間を要する見通し
- 旺盛な高性能DRAM向けテスト需要に対し、テスト供給能力を早期に立ち上げたこともメモリ・テスト市場規模見通しの引き上げに貢献

	CY23実績	CY24推定
SoCテスト市場	約\$3.3B	約\$3.2B - 3.5B (4月時点推定:約\$2.9B-3.2B)
メモリ・テスト市場	約\$1.1B	約\$1.6B - 1.8B (4月時点推定:約\$1.4B-1.7B)

Source: Advantest

FY24業績予想

(億円)

	FY23	FY24							(参考)新旧予想比較		
		実績	FY24		上期予想	下期予想	通期予想	前年度比		4月時点 FY24予想	修正額
			1Q実績	2Q予想				増減額	増減率		
売上高*1	4,865	1,387	1,533	2,920	3,080	6,000	+1,135	+23.3%	5,250	+750	
営業利益	816	313	357	670	710	1,380	+564	+69.1%	900	+480	
営業利益率	16.8%	22.6%	23.3%	22.9%	23.1%	23.0%	+6.2pts		17.1%	+5.9pts	
税引前利益	782	319	356	675	710	1,385	+603	+77.2%	890	+495	
当期利益	623	239	267	506	544	1,050	+427	+68.6%	670	+380	
当期利益率	12.8%	17.2%	17.4%	17.3%	17.7%	17.5%	+4.7pts		12.8%	+4.7pts	
研究開発費	655	173	177	350	350	700	+45	+6.9%	670	+30	
設備投資	208	44	64	108	112	220	+12	+5.8%	220	-	
減価償却費	261	71	68	139	131	270	+9	+3.4%	270	-	
為替レート*2	1米ドル	143円	153円	140円	147円	140円	143円	-	140円	3円 円安	
	1ユーロ	155円	165円	155円	160円	155円	158円	3円 円安	155円	3円 円安	

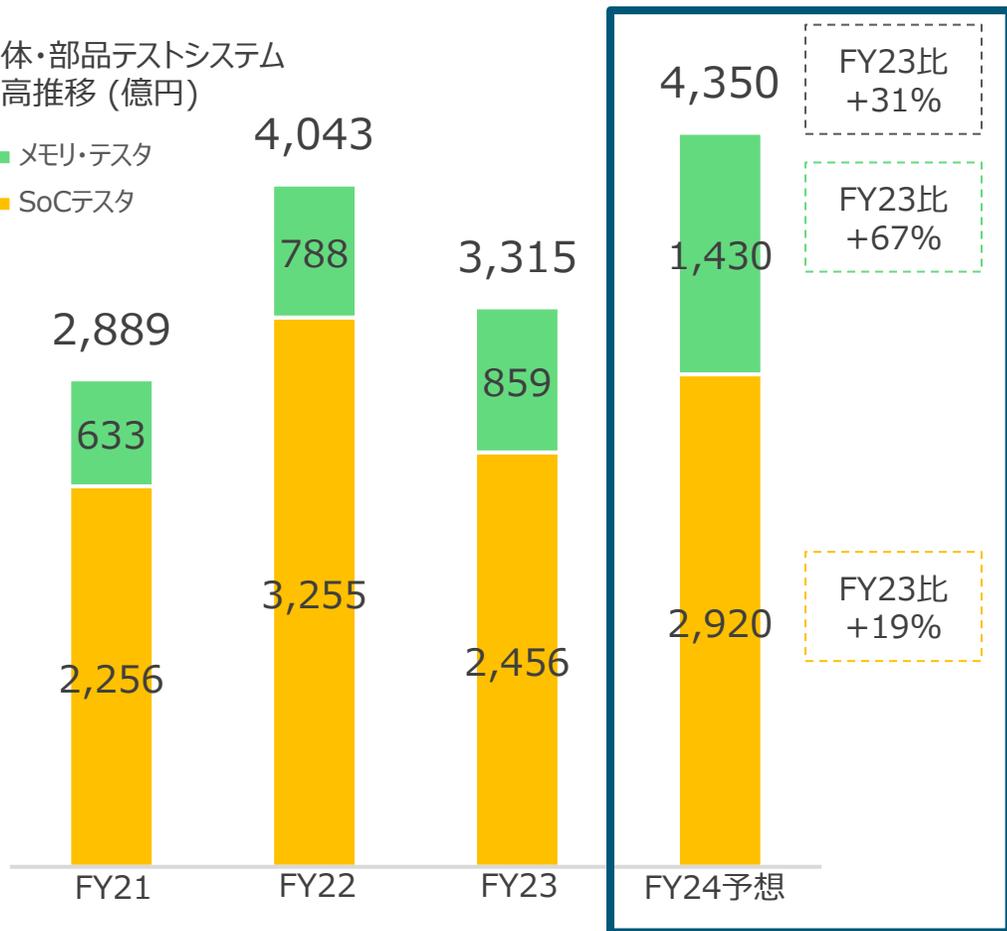
*1:合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2:為替レート変動が今年度の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+9億円です。対ユーロは-3億円です

FY24見通し (事業別)

半導体・部品テストシステム
売上高推移 (億円)

■ メモリ・テスト
■ SoCテスト



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト> (4月予想比 +470億円)

- HPC/AI向けでの半導体の複雑化進展を背景に、想定以上の需要増を予想。一方で、成熟プロセス品向けでは復調に時間を要する見込み

アプリケーション別内訳	FY21	FY22	FY23	FY24(予)
コンピューティング・通信	60%	65%	60%	80%
車載・産業機器・民生・DDIC*	40%	35%	40%	20%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

<メモリ・テスト> (4月予想比 +170億円)

- HBM向けでの顧客の旺盛な投資意欲に対し、当社の製品供給体制を早期に整備。増産対応に目途がつき、売上見通しを引き上げ

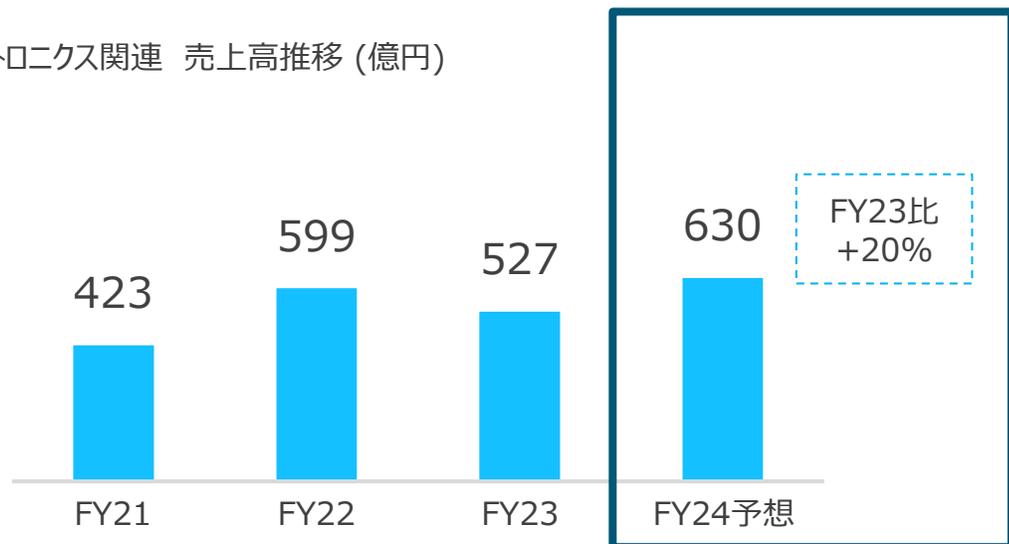
アプリケーション別内訳	FY21	FY22	FY23	FY24(予)
DRAM	60%	60%	90%	95%
不揮発性メモリ	40%	40%	10%	5%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

* DDIC:ディスプレイ・ドライバーIC

FY24見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）

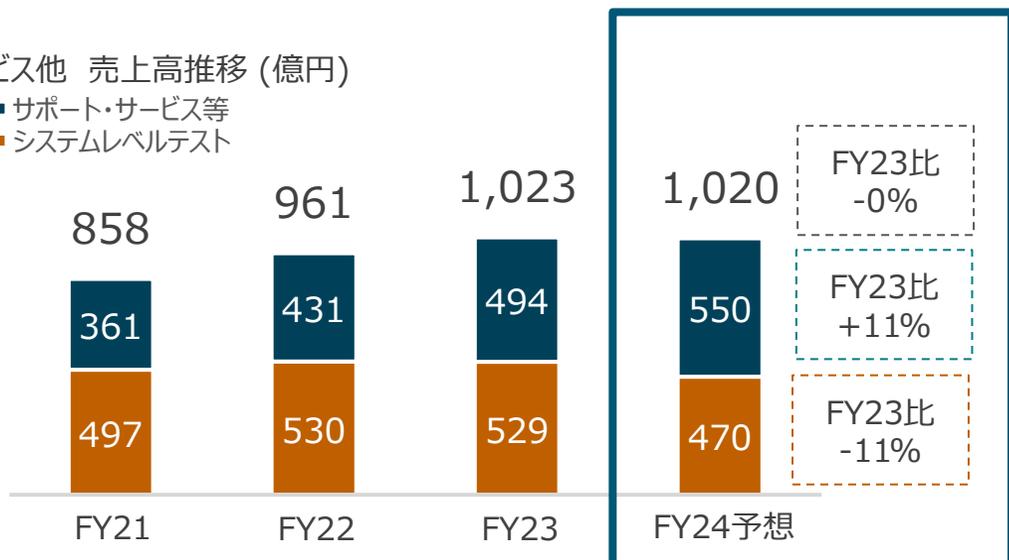


メカトロニクス関連事業（4月予想比 +80億円）

- テスタの売上予想引き上げに伴い、関連するデバイス・インタフェースの売上予想引き上げ

サービス他 売上高推移（億円）

■ サポート・サービス等
■ システムレベルテスト



サービス他事業（4月予想比 +30億円）

- 当社製品の設置台数の着実な伸びにより、サポート・サービスの需要は堅調
- システムレベルテストは、民生機器関連での不透明感が継続しているものの、半導体の複雑化、高信頼性要求を背景に売上予想をやや引き上げ



Facing the future together